

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	馴染みの人や場との関係継続の支援 馴染みの関係を継続するには家族様の協力が必要であり負担感もある。又、家族協力が難しい入居者様の対応等個人差が大きい。	新たにグループホームで馴染みの人や場を新しく築き、継続して交流が深められるように支援を行う	過去の間関係や馴染みの場との関係継続の支援は家族様の協力を頼るところが大きく継続は困難な為、グループホームでの新たな関係を作り、継続した社会交流の場を作る。体操・おやつ作り・コーラス等のクラブ活動や近隣商店との交流の機会を増やす。	6ヶ月
2		昨年の7月に開設したところで、入居者の方々の性格やお体のことを理解したり、日々の生活支援に追われ外出の機会が少なかった	外出し戸外の空気や自然に触れて季節感を味わっていただく	季節感を味わっていただけるようドライブ等の機会を増やす。幸いに郊外の団地に建設されている為、少しドライブをすれば自然公園や道の駅・大型スーパー等障害者対応の施設も多数あり利用し易い。外出スケジュールを事前に企画し回数を増やす。	6ヶ月
3	33	災害対策 次年度は夜間の出火を想定して消火訓練を行う予定にしているが夜勤職員だけで入居者の避難と消火活動は困難である。	火災を含めた災害対策を講じ入居者の安全の確保を行う。	特に夜間の緊急時対策は近隣住民の協力が重要であり、お互いが支えあえる工夫やアイデアを出し合って協力関係を築きたい。その為にも運営推進会議や地区福祉委員会と協議を重ねていく	12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。